

平成24年第4回北海道議会定例会 予算特別委員会 知事総括 開催状況（経済部観光局）

開催年月日 平成24年12月20日
 質問者 自民党・道民会議 石塚 正寛 委員
 答弁者 知事

質問要旨	答弁要旨
<p>一 観光振興について</p> <p>(一) 国際観光について (石塚委員) 国際観光の分野におきましては、現在中国人観光客の減少が懸念材料となっております。しかし一方では、新千歳とタイ・バンコクを結ぶ航空路線が10月に新たに開設され、タイからの入込みが順調に推移していると聞いております。</p> <p>北海道観光の振興に向けて、タイの市場開拓を集中的に進めるため、当面の具体的な対策が必要であろうと思っておりますが、どのように取り組んでいくお考えなのか、お伺いをいたします。</p> <p>先日知事がタイを訪問された際に趣意書に合意したわけですが、これをさっぽろ雪まつりの期間中に締結するという答弁であったと思っております。</p> <p>(二) 国内誘客対策について (石塚会員) 北海道の観光の入込客数は、国際情勢の影響もあって伸び悩んでいる中、先月末、胆振管内を中心とする暴風雪によりましてもたらされた寒さと雪のマイナスイメージが重なってしまって、この冬の本道の観光の状況というのは、一層厳しいものがあると考えております。</p> <p>北海道として、従来の取組に加えてまして、積極的な更なる取組を行う必要があるのではないかと考えますが、見解をお伺いします。</p>	<p>(知事) タイからの誘客についてであります。外国人観光客の誘致促進に向けましては、さらなる努力が必要と考えております。台湾など従来の市場はもとより、成長が期待される東南アジア、とりわけたまたま委員もご指摘がございましたとおり、本年度直行便が就航したタイについては、積極的な取組を進めていく必要があると考えているところであります。</p> <p>このため、来年の2月には、これまでの取組に加えまして、タイでの旅行博への出展や商談会などに取り組むとともに、先般、私自身がタイを訪問した際に、タイ国の政府観光庁との間で合意をいたしましたところの観光交流拡大に向けた趣意書を、これを、さっぽろ雪まつり期間中に締結することで、現在準備を進めているところであります。</p> <p>(知事) 当面の観光振興策についてであります。本道の観光は、景気の低迷や人口減少など、依然として厳しい状況にある中ではありますけれども、入込客数は東日本大震災以降、徐々に回復してきているところでございます。</p> <p>他方、日中間の情勢や暴風雪災害などの影響もあつたこともあり、この冬の状況は、さらに一段と厳しいものと、このように認識をいたしております。</p> <p>また、これからの季節の本道観光は、一年間の中でも入込客数が減少する時期となっておりますことから、現在、冬期における様々な誘客の取組を行っているところでありますが、一層効果的で重層的な取組も必要と考えております。</p> <p>このため、道といたしましては、観光振興機構をはじめ、関係者の力を結集をし、今後、ただ今答弁申し上げました、東南アジア諸国からのさらなる誘客事業や、今回の大規模停電で影響を受けた登別地域をはじめ、道内の観光地への誘客促進に向けて、年明け早々にも新たなキャンペーンを緊急的に追加で実施するなど、一層の観光客誘致に努めてまいりたいと考えております。</p>